国内拠点・事業に積極投資

競争力高め雇用維持

素材・エネルギー業界では、国内の拠点や事業を強化するための投資が目立っている。これまで培ったノウハウを最大限活用できる主力事業の競争力を高めて全社を底上げするとともに、雇用の維持につなげる。

■素材・エネルギー

車の排ガス規制強化対応

日本ガイシは2014年3月期までに、石川工場（石川県能美市）などで自動車排ガス浄化用触媒担体の生産能力を高める。同工場では大型の触媒担体やコージェライト製セラミックスを用いた粒子状物質減少装置（DPF）の生産設備を新設する。日本を含め世界6カ国で総額370億円を投じ、生産能力を従来比4割高める。

また、排ガス中の窒素酸化物（NOx）濃度を測定するNOxセンサーは、小牧事業所（愛知県小牧市）などで増産する。同事業所に30億円を投じ焼成炉を新設するなど全社で計47億円を投資し、14年1月までに同センサーの年産能力を現在比約3倍の700万本に引き上げる。自動車の排ガス規制強化に伴い、自動車向けセラミックス製品の需要が伸びると判断、大型投資する。

日本特殊陶業は12年5月に排ガス中の酸素濃度を測定する自動車用酸素センサーの年産能力を従来比15%増の6000万個に引き上げる。小牧市にある二つの工場に計52億円を投じ設備を増強する。

また、14年4月に岐阜県可児市に自動車用エンジン点火プラグに使う絶縁体の新工場を稼働する。投資額は280億円で、月産能力は1350万本。「基幹部品のプラグ絶縁体やセンサー素子は国内で集中生産する」（尾堂真一社長）と強調する。

日本ガイシが増産するNOxセンサー

下水汚泥を火力発電の燃料にする設備（中部電力）

下水汚泥燃料に火力発電

事業期間20年　CO_2、年8000トン排出量削減

中部電力は全面停止中の浜岡原子力発電所（静岡県御前崎市）で高さ18メートルの防波壁設置などの津波対策工事を進めている。非常用ガス交流電源の増設や原子炉建屋を密閉する扉の増加などで工事費用を従来計画より4000億円増の1400億円とした。安全性を高めて「世界で一番安全で安心な原子力発電所を目指す」（水野明久社長）と強調、工事は12月に完了する予定。「資源の乏しい日本でエネルギーセキュリティーを確保する上では原子力発電は不可欠」（同）とし、早期の再稼働を目指す。

また、碧南火力発電所（愛知県碧南市）では下水汚泥を燃料とした発電を始めた。衣浦東部浄化センター（同）で発生した下水汚泥を、同センター内の燃料化施設で炭化処理してバイオマス燃料とし、石炭と混合して発電する。年間3万3000トンの下水汚泥を処理して2700トンの燃料を製造する。下水汚泥を使った年間発電量は約4600万キロワット時で、標準家庭1270世帯分の年間使用電力に相当する。

下水汚泥による発電は常磐共同火力（東京都千代田区）の勿来発電所（福島県いわき市）に続いて全国で2カ所目。事業期間は20年の予定。下水を焼却処理する場合や石炭のみの発電に比べ、年間8000トンの二酸化炭素（CO_2）排出量削減になるという。

東邦ガスは工場のガス関連設備の建設や運用を請け負う総合ユーティリティーサービス事業を本格化した。ガス発電設備やガスコジェネレーション（熱電併給）設備を子会社の東邦ガスエンジニアリング（名古屋市昭和区）と共同で受注、ガス販売量の増加や利益率向上につなげる。

総合ユーティリティーサービスは、企業に発電設備などをリースし、運用を請け負う。液化天然ガス（LNG）のサテライト基地や気化設備を手がける子会社のノウハウを活用する。

ガス発電設備は顧客が自社で設置するケースが多い。設備がリースになれば顧客の初期投資が減り、天然ガスの需要開拓につながる。13年3月をめどに業務用営業部門の要員を11年3月期末比で40人増員する。

■主要産業の動向

品種別に一貫生産

国内外のモノづくり主導

ノリタケカンパニーリミテドは13年3月をめどに、三好事業所（愛知県みよし市）で研削砥石を品種別に一貫生産する体制を築く。投資額は50億―70億円。

砥石のサイズや形状に応じて計10本程度の生産ラインを新設し、生産リードタイムを従来比半減する計画だ。三好事業所を砥石生産のマザー工場に位置づけ、国内外のモノづくりをリードする。

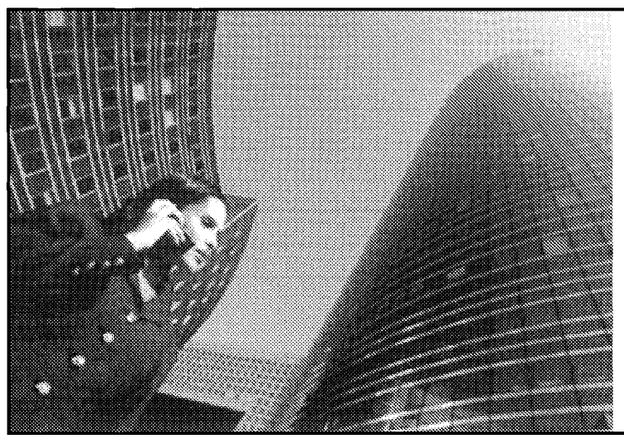
本社工場（名古屋市西区）での砥石生産を終了し、三好事業所に全面移管する。直径60センチメートルを境にして大型と中・小型の2エリアに分け、厚さや形状ごとに合計10程度の製品群を設定。製品群ごとに生産の各工程を一元管理する。本社工場では材料の混合やプレス、焼成など工程別の生産ラインになっており、製品ごとの段取り替えなどに時間がかかっていた。

一方、海外で開発機能を強化するのがフジミインコーポレーテッド。13年3月に稼働予定の台湾工場（苗栗県）に7億円を投じ、半導体回路平たん化研磨剤（CMPスラリー）の試験装置や製造設備を導入する。現地の半導体製造受託会社（ファウンドリー）の発注に迅速に対応できる体制を整える。CMPスラリーの世界シェアは現在1割だが、台湾工場の開発機能強化により、同2割にまで伸ばす方針だ。

台湾の開発拠点では現地の仕様に合わせ、研磨剤を構成する薬品の組み合わせや混合比率などを決める。台湾工場の稼働当初は日本で開発機能を担うが、生産が軌道に乗れば台湾で製造するCMPスラリーは現地で開発する。

半導体製品の微細化に伴い、研磨剤に対する要求項目も細かくなっている。このため顧客に近い場所で迅速に製品を開発し、シェア拡大を狙う。

砥石生産を移管するノリタケカンパニーリミテド三好事業所

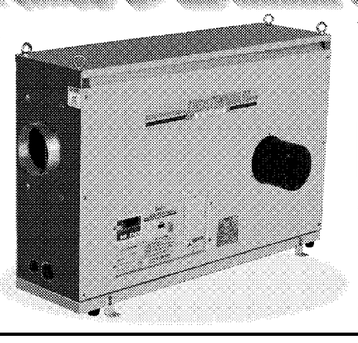


ネット社会の中でも、
心のふれあいを大切にしています。

川北電気工業株式会社
営業品目　電気設備・送電線・地中線 設計施工／電気機器材料製造加修販売／電気計装設計施工／
本　社／〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目6番25号
電話（052）251－7111（代表）
支　社／東京・大阪・静岡・九州・東北 他
営業所／福島・茨城・栃木・埼玉・千葉・横浜・豊橋・豊田・岐阜・三重・中国 他

New 熱風発生機 HEATERPAN Shinko

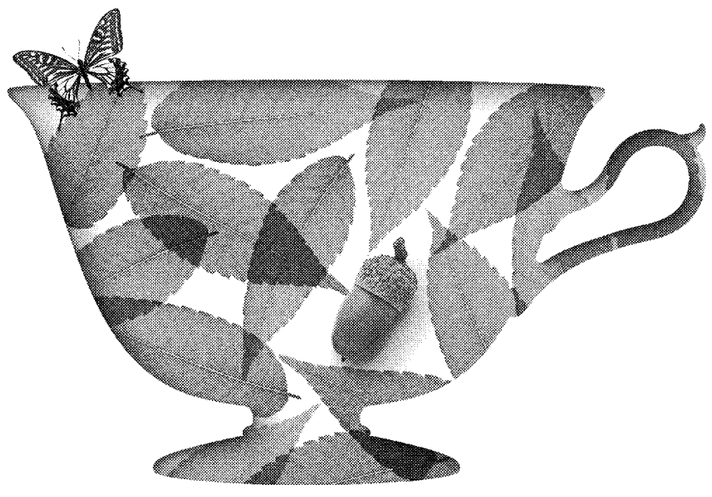
● 高温吸入でも安心
● 大風量・高性能を標準化
● インバータ搭載（コントロール内蔵型の時）
● 接ガス部ステンレス仕様



HPシリーズ 3～20kW

〈営業品目〉
液体加熱用ヒーター　電熱機器　乾燥機用ヒーター
気体・固体加熱用ヒーター　空調用ヒーター　冷凍機器除霜用ヒーター
用途に応じて多種・多様に取り揃えております。
進興電気製造㈱大阪工場・岡山工場 ISO9001認証取得　電気ヒーターの専門メーカー
進興電気工業株式会社
名古屋営業所　名古屋市北区長喜町3丁目7番地
☎(052)991-2261㈹　FAX(052)991-2264
本社 大阪　営業所 東京・静岡・広島　工場 大阪・岡山
http://www.shinko-heater.co.jp

人と地球に、
ノリタケ コアテクノロジー



食器づくりで育んだ技術は、地球環境を守るための技術として活かされています。
100年以上かけて精度を高めた、削る、混ぜる、印刷する、焼く、という
ノリタケのコアテクノロジーは、太陽光発電、リチウムイオン電池といった
新エネルギー分野で、いまや欠かせない存在です。

Noritake
株式会社ノリタケカンパニーリミテド　〒451-8501 名古屋市西区則武新町三丁目1番36号　http://www.noritake.co.jp